

2018 年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラルミズーリ大学

実習期間：8月22日（水）～12月6日（木）

新潟国際情報大学
国際学部国際文化学科
学籍番号 21017001
赤川 万里慧

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：セントラル・ミズーリ大学 English Language Institute

留学期間：平成30年8月22日（水）～平成30年12月6日（日）

*帰国は12月7日（金）

2 留学先概要

(1) 大学について

セントラル・ミズーリ大学はミズーリ州、ウォレンズバーグという都市に位置する。ウォレンズバーグは人口が2,017万ある小さな都市である。5つの学部と1つの大学院を要する州立の総合大学であるこの大学では、13,000名の学生が学んでいる。国内だけでなく国外からも多くの留学生が集まる活発な大学である。広大なキャンパスにはスポーツジムやコンサートホール、映画館といった施設がある。また、航空学で有名であり、パイロットを目指す学生も多い。

(2) 大学で行われている教育について

セントラル・ミズーリ大学は世界50か国の大学と交換留学制度を設けており、国際交流がとても盛んなことが特徴である。そして農業科学、航空科学、ホテル&レストランマネジメント、ツーリズム、ミュージックテクノロジー、ファッションビジネス、会計学、アート、アスレチックトレーニング、生物学、商業用アート、コンピューター科学、経済学、農業ビジネス、インテリアデザイン、経営学、マーケティング、音楽、写真学、物理学、心理学、パブリックリレーション、社会学、などといった幅広い分野を学ぶことができる。今回お世話になるコースは、母国語が英語でない学生向けに英語の教育を行うものである。生徒たちは1～9のクラスにレベルされ、各自のレベルにあった少人数かつきめ細かい授業を受けることができる。

3 留学目的

今回の留学の目的は、実践的で自然な英会話の習得と英語力の向上である。日本国内では得られない英語だけの環境に身を置くことは、ただがむしゃらにテキスト通りの勉強をするよりも実践的に英語を学ぶことができると考えたためだ。具体的には英語での日常生活を通じてTOEIC 750点をめざすことだ。グローバル化が進む社会において、英語の習得はより一層必要不可欠なものになっていくことが予想される。これはビジネスの世界だけにおけることではなく、生活一般においても同じことである。また今回の留学ではたくさんの異なる文化圏の人々と交流する機会があるため、語学の向上はもちろんこれからの国際化に向けた他国への理解を向上させることも目的とした。

4 留学内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	22 (水)	到着	オリエンテーション、入寮
	23 (木)	Document check ID カードの取得	メールのセットアップ ウォルマートでショッピング
	24 (金)	健康診断、血液検査	IEP テスト バレーボールゲーム観戦
	25 (土)		
	26 (日)		
	27 (月)	教科書配布 授業開始	English language institute(ELI)の 生徒と昼食とボーリング
	28 (火)	授業	
	29 (水)	授業	
	30 (木)	授業	
	31 (金)	授業	
9	1 (土)		
	2 (日)		
	3 (月)	授業	
	4 (火)	授業	
	5 (水)	授業	
	6 (木)	授業	
	7 (金)	授業	
	8 (土)		
	9 (日)		
b	10 (月)	授業	
b	11 (火)	授業	
b	12 (水)	授業	
b	13 (木)	授業	
b	14 (金)	ゴルフ	カンザスシティのカントリープラ ザでショッピング
b	15 (土)		

	16 (日)		
	17 (月)	授業	Bible club
	18 (火)	授業	
	19 (水)	授業	
	20 (木)	授業	
	21 (金)	History tour	
	22 (土)		
	23 (日)	Art fire	ショッピング
	24 (月)	授業	
	25 (火)	授業	
	26 (水)	授業	
	27 (木)	授業	Drag queen show
	28 (金)	授業	
	29 (土)		
	30 (日)		
10	1. (月)	テスト	
	2. (火)	テスト	
	3. (水)	テスト	
	4. (木)	テスト後のため休み	Japanese student organization (JSO) イベント参加
	5. (金)	テスト後のため休み	
	6. (土)		
	7. (日)		
	8. (月)		
	9. (火)		
b	10. (水)		
b	11. (木)	Bon fair	
b	12. (金)	Art class 見学	
b	13. (土)		
b	14. (日)		
b	15. (月)	授業	
	16. (火)	授業	
	17. (水)	授業	
	18. (木)	授業	

	19. (金)	授業	
	20. (土)		
	21. (日)	English language institute (ELI) ハロウィンイベント	
	22. (月)	授業	
	23. (火)	授業	
	24. (水)	授業	
	25. (木)	授業	
	26. (金)	授業	
	27. (土)		
	28. (日)	Homecoming Japanese student organization(JSO)としてパレード参加	
	29. (月)	授業	
	30. (火)	授業	
11	1 (水)	映画鑑賞	
	2 (木)	授業	
	3 (金)	授業	
	4 (土)	Food Show< Japanese student organization(JSO)>	
	5 (日)		
	6 (月)		
	7 (火)		
	8 (水)		
	9 (木)		
b	10 (金)		
b	11 (土)		
b	12 (日)		
b	13 (月)		
b	14 (火)		
b	15 (水)		
	16 (木)		
	17 (金)		
	18 (土)	Thanksgiving アメリカの家庭を 訪問	

	19 (日)	Thanksgiving break	
	20 (月)	Thanksgiving break	
	21 (火)	Thanksgiving break	
	22 (水)	Thanksgiving break	
	23 (木)	Thanksgiving break	
	24 (金)		
	25 (土)		
	26 (日)		
	27 (月)		
	28 (火)		
	29 (水)		
	30 (木)		
12	1. (金)	ネルソンアトキンス美術館へ絵画鑑賞	
	2. (土)		
	3. (日)		
	4. (月)	テスト	
	5. (火)	テスト	
	6. (水)	Award ceremony	
	7. (木)	帰国	

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 授業

はじめに行われたテストによってレベルごとに 9 段階にクラス分けがされた。科目は reading, writing, grammar, communication, American culture, American history, US and Japan relation ship の 7 つが共通科目で、このほかにレベルに応じてラボという授業がある人もいた。

ii) イベント

University of Central Missouri (UCM)内にはいろいろなイベントが多く開催されていた。English Language Institute(ELI)が主催していたイベント (bon fire, カンザスシティ観光、映画鑑賞、各種スポーツの試合など) は先生方が現地まで送迎してくださり、とても快適かつ安全にイベントを楽しむことができた。また今回、Japanese Student Organization(JSO) と International Student Organization(ISO)に所属していたため短期間ではあったが他国の

かたともイベントを通じて交流できたことはとても良かった。





iii) カントリープラザ

カントリープラザはカンザスシティのカントリークラブ地区にある屋外ショッピングエリアである。「Fountain City(噴水の街)」として有名であるカンザスシティらしく随所に立派な噴水があり、見て回るだけでも楽しい場所だ。



iv)ウォルマート

普段の買い物によく利用していた大型スーパーマーケット。近くにはほかにも薬局のようなお店やアイスを販売している店もあった。毎週火曜日の七時からウォルマート行き大学発のシャトルバスが出ていた。

v)Food Show

このイベントは ISO 主催のイベントで留学生が各自、自国の料理を作り、みんなにふるまうというもので、日本食を紹介し、作成しただけでなく他国の料理にも触れることができた。

vi)Homecoming Event

UCM の OB や OG があつまり、キャンパス内がとても賑やかになる。特設ステージや飲食できるスペースが作られる。フットボールの開幕戦も近いため、この時期 UCM はイメージカラーの赤で染まる

viii)Thanksgiving

サンクスギビングは一週間ほどある長期休暇だ。この時期に帰省する生徒も多い。今回は伝統的なアメリカのサンクスギビングを体験するため、Adlich 氏のお宅を訪問した。夕食と伝統的なゲーム、スプーンズをして楽しんだ。

ix) Thanksgiving Break

一週間ほどの長期休暇のあいだ、帰省する人や旅行する人が増える。今回はフロリダのディズニーワールドとユニバーサルスタジオへ旅行してきた。アメリカの国内線を乗り継ぐため少し不安もあったが、無事に楽しんでくることができた。

x)Award Ceremony

留学最期を締めくくる式で、ELI プログラムに参加した多くの留学生が参加した。プログラムが終了したことを示す、証書をいただいた。Youtube で配信しながらの式でとても驚いた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)TOEIC のスコアを上げること

TOEIC の点数は留学前の 675 点から 715 点と 40 点あがったことが分かった。授業の最期に受けた TOEIC のリスニングが以前よりも、精神的余裕をもって挑むことができたことから自身のリスニング力の向上を感じることができた。

ii) より自然な英語での会話を可能にすること

完全に相手の発言を理解して流ちょうに話すことは少し厳しかったが、寮生活や普段の授業を通じて簡単に自分の考えを述べたり、相手の話を時に聞き返して確認したりしながら会話することができた。これにより交通機関における応答や飲食店、もしくはレストランでの会話には自信を持てた。ただカンザスシティのような内陸の街にでたときに、地域住人との会話はまだまだ難しいと感じた。

iii) 異文化を理解すること

異文化理解は、レギュラーの生徒も多く住んでいた寮生活とサンクスギビングでのお宅訪問、そして授業で様々な国の留学生と交流をしていく中で自然に構築されていった。日本での良識は必ずしも世界すべてに通用するわけではないことや日本とは異なるがぜひ日本でもまねしてほしい効率主義の思想を知ることができ

6 反省・課題

三ヶ月という短い研修であったが、非常に多くのことを学ぶことができ、有意義な留学となった。特に今まで生きてきた中で三か月間、親元を離れ英語漬けの生活を送ることはこれからの人生においても貴重な体験となった。日本をでて初めて、他国で同じように勉学に励んでいる留学生と交流することは自分の至らなさや視野の狭さ、そしてまだまだ勉強不足なことが浮き彫りになった。世界的にみて日本の大学生の勉強時間が少ないということは知識として知っていたが、実感を伴って知ることができたことは大きいと感じた。今後はこの体験で満足するのではなく、あくまで学びへの一歩としてさらに精進していきたい。

謝辞

今回、セントラルミズーリ大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった Valerie Heming さん、Jill Thomas さん、Laura Kennish さん、Miryan Andaku さん、Amber Scroggs さん、Adlich 家の皆さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の夏期留学担当で 2018 年度前期の授業、留学の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本直生先生、Peatter Iori Kobayasi 先生、矢口裕子先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月22日 水曜日
出発 成田空港
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・大学から成田空港までリムジンバスで移動。 ・成田空港からダラス、ダラスからカンザスシティまで飛行機 ・ダラスで入国審査 ・カンザスシティから UCM までバスで2時間

移動の所感

15時間のフライトは大変長く疲れを感じた。だが、空港では UCM の先生方がバスで待っていてくださり、安心して大学に到着できた。その時にもらったクッキーがとても大きくてアメリカに来たんだと実感した。

8月27日 月曜日
授業開始
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・1限 Jillさんの Reading クラス ・2限 Amberさんの Writing クラス ・昼食は同じ ELI の生徒と一緒にドミノピザを食べながら、大学の説明を受ける。 ・そのあとボーリングパーティ

所感

初めての授業だったがクラス自体はもうはじまっていたので授業の雰囲気慣れることとパートナーと組んでディスカッションするのが難しかった。

9月3日 月曜日
授業なし 近くを散策
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・現地の日本人の先輩と昼食 ・大学構内にあるスタバに行く。

所感

車を持っている先輩に誘われて、ウォルマートの近くにある、キングビュッフェという寿司と中華のあるレストランに昼食を食べに行った。
そのあとアメリカのスタバに行ってみたかったので構内にあるスタバに行った。

9月10日 月曜日
授業 バイブルクラブ
内容 ・1限 Reading クラス ・2限 Writing クラス ・バイブルクラブ参加

所感

いつもどおりの授業の後、友人に誘われてバイブルクラブという聖書を読む会に誘われたので参加してきた。バイブルクラブには純粋なカトリック以外にもたくさん参加者がいて、ちょっとしたゲームをして楽しんだ。英語で普段かかわりのないレギュラーの生徒や留学生と話せたことはよかった。

9月17日 月曜日
授業
内容 ・1限 Reading クラス ・2限 Writing クラス ・3限 Speech clinic ・4限 Reading test

所感

speech clinic という発音を矯正するクラスがはじまった。何人かに分かれてのクラスであったが、私たちのグループではマシュマロタワーを英語で相談しながら高く積み上げるアクティビティをした。

9月23日 日曜日
ISO のイベントに参加
内容 ・ Kansas Art tour に参加

所感

ISO が主催するアートツアーに参加してきた。行先はカンザスシティのネルソンアトキンス美術館と近くの洋服店だった。その時に訪れた書店がとても広くて驚いた。

10月1日 月曜日
Test
内容 ・ Reading test ・ Writing test

所感

はじめてのテストだったが、日ごろの授業と宿題を中心とした内容だったため、準備を整えて挑むことができた。

10月13日 土曜日
ダウンタウンへ遊びに行く
内容 ・ 韓国人の友人とダウンタウンでアップルパイを食べに行った。

所感

授業を通じて仲良くなった韓国人の友人とダウンタウンへアップルパイを食べに行った。もう一人私の友人を連れて行ったのだが、お互いの故郷（日本と韓国）の話をすることができ、楽しい時間を過ごせた。

11月1日 木曜日

映画鑑賞
内容 ・近くの映画館へ行った。

所感

大学構内にもシアタールームはあるが新しい映画は見る事ができないためとても楽しかった。ハロウィンというホラームービーとアリーとベノムが上映していて、私と友人はベノムを見た。映画館にはプリクラ機があったため、友人と記念撮影として利用した。一昔前のような仕上がりになったがいい思い出になった。

11月4日 日曜日
Food show
内容 ・JSOのメンバーと料理をつくった。 ・他国の料理や文化に触れた。

所感

JSOのメンバーで協力して日本料理を作った。内容は肉じゃが、キュウリの浅漬け、だし巻き卵を作った。また留学生がたくさん参加していたため他国の料理にも売ることができた。当日は日本のほかに韓国、インド、

11月12日 月曜日
授業
内容 ・1限 Reading ・2限 Writing ・3限 Speech clinic ・図書館に行く。

所感

授業はいつもと同じであった。読みたい本があったため、図書館を利用した。UCM

の図書館は3階建てになっており、1階にはカフェ、2階ディスカッション可能な図書スペース、3階が騒音厳禁なスペースになっていた。ちなみに貸し出しの上限はない。

11月18日 日曜日
Family meal
内容 ・アメリカのお宅を訪問し、アメリカ文化を体験

所感

少人数ごとに分かれていろいろな家庭を訪ねる Family meal で、今回は、Adlich 氏の家庭を訪問した。この家族はホームステイもたくさん受け入れた経験のある家庭で、留学生に慣れている印象を受けた。とても親切で、寮から家まで車で送迎していただいたのがありがたかった。夕食を一緒にいただいたのだが、デザートでいただいたブラウニーがとてもおいしかった。二匹の犬と蛇を飼っていて楽しく、ゲームなどして過ごした。

11月23日 金曜日
Thanks giving break 4日目
内容 ・フロリダ滞在4日目 ・オーランドにあるユニバーサルスタジオに行く。

所感

フロリダに滞在して4日目でだいぶ現地の気温に慣れた。ミズーリはマイナス10度が平均であったため、同じ国内であるにもかかわらずその違いに驚く。前日の3日間ディズニーワールドで楽しんだ時の疲労が少し残っていたが、ユニバーサルスタジオはディズニーワールドと比べるとあまり混雑していなかったため、比較的並ぶことなくアトラクションに乗れたことが印象的だった。

12月3日 月曜日
テスト
内容 ・Final exam

所感

留学最期のテストだったが、無事終了した。TOEIC も受けたが、留学前よりもリスニングの能力の手ごたえを感じた。ほかのテストはペーパー形式のものと今までの授業の内容をポートフォリオにして提出するだけのものがあった。

12月6日 木曜日
最終日
Award ceremony
内容 ・最後の式典が行われた。 ・その後 AM3 時に大学を発つ。

所感

最後のセレモニーは昼頃執り行われた。軽い軽食が用意され、その場にいらなくてもセレモニーの様子を見ることができるよう Youtube で同時配信された。各レベルごとの代表が感謝やこれからについてのスピーチをしたあと、プログラムを完了した証書が先生方から手渡しされた。抽選でプレゼントがもらえるイベントがあり、当たった人が嬉しそうにしていたのが印象的だった。

その後私たちは飛行機の時間の都合で、朝 3 時に大学の寮を発った。先生方が最後まで見送ってくださり、名残惜しさを感じた。